

### 3 調査結果の考察

- ・ 広島市の児童生徒の体力の状況は、全体的に改善の傾向が見られています。その要因としては、児童生徒の運動への意欲を高めるための「体力アップハンドブック」の配布や「体力アップ認定証」「体力優秀賞」の交付、児童生徒の体力向上に効果的な指導方法に関する実技研修会や講演会の開催、さらに、各学校が「体力つくり推進計画」を作成し、体力向上の取組が学校体制で進められるようになったことなどが考えられます。
- ・ 一方、一部の種目では、改善が図られていない状況があり、特に、小学校では「ソフトボール投げ」、中学校では「持久走」が課題となっており、今後、改善に向けた取組を重点的に推進する必要性があると考えています。

### 4 今後の対応

- ・ 各学校における組織的・計画的な実践をより一層推進するための取組として、各小・中学校において、自校の新体力テストの結果分析をもとに、重点的に取り組む課題を明らかにし、改善策等をまとめた「体力つくり推進計画書」を引き続き作成するとともに、本計画に基づいて、学校全体で体力向上に向けた取組が実施されるようにします。
- ・ 教員の指導力向上を図るための取組として、平成21年度に策定・配付した「運動プログラム」の各学校における一層の活用を図るため、運動プログラム活用事例集及び事例集に掲載している運動の動画を収録したDVDを全小・中学校に配布します。また、体力向上推進校を指定し、調査で明らかになった課題を踏まえた授業改善を行い、その成果を研修会等を通じて、他の小・中学校へ普及・啓発するとともに、教員を対象にした実技研修会を開催します。